

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2006-518015(P2006-518015A)

【公表日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2006-030

【出願番号】特願2006-503573(P2006-503573)

【国際特許分類】

A 42 B 1/18 (2006.01)

A 42 B 1/06 (2006.01)

【F I】

A 42 B 1/18 K

A 42 B 1/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月13日(2007.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表面領域を提供する拡張・格納式パネルを有する構造体であって、
 第一パネルと、

第一の単一ピボット点によって第一パネルにピボット回転可能に取り付けられた第二パネルと、

第二の単一ピボット点によって第一パネルにピボット回転可能に取り付けられた第三パネルとを有し、第二、第三パネルは、これら第二パネル、第三パネルと第一パネルとの重なりが最小である第一の位置と、第二パネル、第三パネルと第一パネルとの重なりが最大である第二の位置との間で可動である構造体。

【請求項2】

拡張・格納可能なパネルを備えることで可変表面領域を提供するつば構造体を有する頭部装具において、

前記構造体が取付けられることで長さと幅とが可変的に調節可能とされたつばを備えた頭部装具であって、

前記構造体は更に、

第一パネルと、

第一パネルにピボット回転可能に取り付けられた第二パネルと、

第一パネルにピボット回転可能に取り付けられた第三パネルとを有し、第二、第三パネルは、これら第二パネル、第三パネルと第一パネルとの重なりが最小である第一の位置と、第二パネル、第三パネルと第一パネルとの重なりが最大である第二の位置との間で可動である頭部装具。

【請求項3】

可変表面領域を提供する拡張・格納式パネルを有する構造体であって、

長さ方向と幅方向を有する第一パネルと、

第一の単一ピボット点によって第一パネルにピボット回転可能に取り付けられた第二パネルと、

第二の単一ピボット点によって第一パネルにピボット回転可能に取り付けられた第三

パネルとを有し、第二、第三パネルは、第一パネル下方におけるこれら第二、第三パネルの格納位置と、第二及び／又は第三パネルが第一パネルの長さ及び幅の両方を超えて延在する展開位置との間で回転可能である構造体。

【請求項4】

前記構造体が取付けられることで長さと幅とが可変的に調節可能とされたつばを備えた頭部装具を更に包含する、請求項3に記載の構造体。

【請求項5】

前記構造体が取付けられることで可変的に調節可能とされた領域を有する支持表面を備えた家具を更に包含する、請求項1又は3に記載の構造体。

【請求項6】

第二及び第三パネルを同時に拡張・格納させる機構を更に含む、請求項1又は3に記載の構造体。

【請求項7】

前記機構は、第一パネル上のガイドと、第二、第三パネルの各々における細長いスロットと、これら細長いスロットを貫いて延び前記ガイドと係合するピンとを有し、ピンが一方向に動くことで両パネルが同時に拡張され、このピンが第二の方向である反対方向に動くことで両パネルが同時に格納される、請求項6に記載の構造体。